

脳梗塞急性期 血栓溶解療法 (t-PA療法)

医療法人啓仁会 吉祥寺南病院(東京都武蔵野市) 脳神経外科部長 高草木 宏之



脳神経外科部長
高草木 宏之

近年、脳卒中は死因の第3位、寝たきりの原因第1位です。脳卒中の中でも脳梗塞が年々増え続けています。日本の脳梗塞治療は大きく進歩して治療の恩恵を受けるためにはできるだけ早い病院受診が必要です。脳卒中かもしれないという判断と迅速な搬送で、t-PA血液溶解療法などの治療が可能となります。吉祥寺南病院では、脳卒中診療体制が整備され、東京都からの認定を受け平成25年5月から治療できるようになりました。

万が一発症した場合の救急対応の重要性をご認識ください。しかし、まずは、疾病予防を心がけましょう。脳卒中の主な危険因子である**高血圧、糖尿病、不整脈(心房細動)、喫煙、過度な飲酒、高コレステロール血症(脂質異常症)**に注意し、適正カロリー、塩分・脂肪分控えめの食事、適度な運動を取り入れた生活習慣で肥満を避けることを勧めます。

脳血管障害とは

脳の血管に異常が起こり、詰る、破れるなどの異常をきたす脳血管障害が脳卒中です。大きく分けると血管が詰まる**脳梗塞**、血管が破裂する**脳出血**、脳表面の血管にできた動脈瘤が破裂する**くも膜下出血**に分けられます。

くも膜下出血 症状

- ・突然の頭痛
- ・瞬間的に痛む頭痛
- ・はげしい頭痛

脳梗塞、脳出血 症状

- ・片側の顔、手、足の麻痺(片麻痺)
- ・言葉の障害(構音障害、失語)
- ・意識の障害
- ・同じ側の顔、手、体、足の感覚が鈍い(半身の感覚障害)
- ・視野の半分が見えない(半盲)
- ・ふらついて歩けない(失調)
- ・ものがだぶって見える(複視)
- ・片側の眼が見えない
- ・ものが覚えられない(記憶力障害)

血栓溶解療法 (t-PA療法) とは

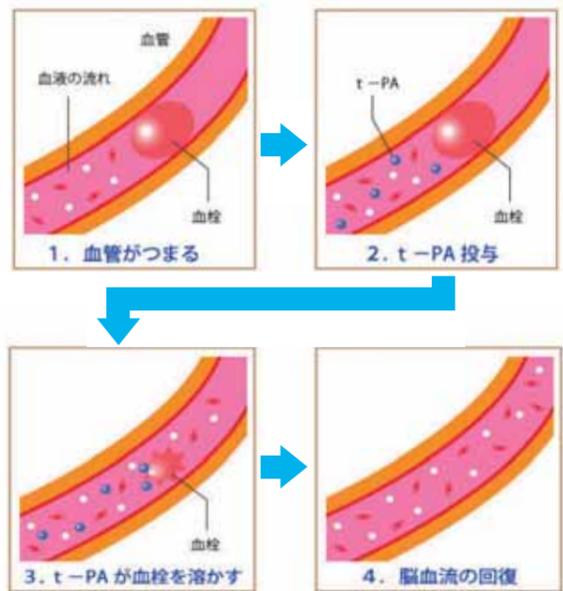
脳梗塞は脳に酸素や栄養素を運んでいる動脈が詰まって起こる病気です。動脈が詰まると、脳の神経は時間が経てば経つほど傷んでしまい、ついには神経細胞が死んでしまい(壊死)元に戻らなくなります。また血流が停止し、時間が経つにつれ壊死の部分が拡大して行きます。壊死の周囲には血流が再開するとまた元に戻る細胞もあります。そこで脳の細胞が死んでしまう前に血流を再開し血管を詰めている血栓(血の固まり)を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻そうとするのが、血栓溶解療法です。

アルテプラゼ(t-PA)は、脳梗塞や心筋梗塞などの原因となる血栓を溶かす薬として米国で開発され、現在、脳梗塞に対して40カ国以上の国々で使用、日本では2005年から脳梗塞に対して使用を開始。

脳出血等の副作用を出来るだけ少なくするために、アルテプラゼは、一定の使用基準(発症後4.5時間以内)を満たす場合のみ投与が可能。

● 禁忌・治療が適応しない場合 ●

- * 発症から4.5時間を超えている場合
- * 出血している方
- * くも膜下出血の疑いがある方
- * 血圧の高い方
- * 血糖値の高い方、低い方
- * 3か月以内に脳梗塞を起こした方
- * 他に重度の合併症(肝臓、腎臓の疾病)
- * 発症時に痙攣発作があった場合
- * 治療薬の過敏性



t-PA療法は症状が現れてから4.5時間以内に1時間をかけて点滴します。治療の恩恵を受ける為にはできる限り早い病院受診が必要です。脳血管障害を疑われる場合はすぐに救急車を呼びましょう。



「脳卒中『顔・腕・言葉』ですぐ受診！」 FUKUOKA F.P.Bより

- 顔** ニッコリ笑うと口や顔がゆがむ
- 腕** 手のひらを上に、両手を前方にあげ、5つ数える間に、片方の腕が下がる
- 言葉** 「今日は天気が良い」とうまく言えない

「FAST」 ☆顔のまひ(Face) ☆腕のまひ(Arm) ☆ろれつが回らない(Speech)

Face、Arm、Speechの3つの症状のうちどれか1つでも該当すれば発症時間(☆Time)を確認し、救急車を呼びます。

